

勞働歌を高唱し上野竹の臺に繰込み

[illegible]

三千名

[illegible]

殉職警官二夫人の遺族に
同情金一萬圓を贈る

[illegible]

御用邸に決す

熱海御用邸に決す

東京電云、陛下生れになつてから三十一日、降せらるゝ。陛下は昨旦よりうくるゝと傳ふこと、疑はざるや。七七日、陛下には御機嫌なる。東宮御膳料三分を熱海御用邸に御馳参となさることは、既報の通りであるが、陛下に御遊幸地として熱海の御用邸へ御使用あらせられる筈なりこれた内、疾病では来月か、十萬圓の豫め、熱海御用邸の大修繕することとなつた。

復讐局竊寫事件擴大

「疑獄に關係はない」
宮原氏極力否認す

宮原氏極力否認す

[illegible]

六會四十三名の
必勝を期して闘

本 社 主 催
 婦 人

六日朝釜山を出發

一夜を明かした二人の印度青年は朝をきつし新聞記者團への目送りを受けて同日午後九時三十分を過ぎながら東京の都心へ向かう。二人は、

教會を代表して東上した
平山政十氏

[illegible]

「さういふ下から同時に此の底
から一歩進んで社

爆彈を持つ
不逞團捕はる

れた事件に關し探問する處によれ
ばは係合當時からあまり世間
知られてない、警務廳安藤に根
て宿澤させたもの

大發覺電報一區、南川縣令張大發
知伏石事件の公理は六月二日正午
に於て、川省長官と豫省長官との
間に、

た事物に觸し、疑難する處によれ
るは你等當時からあまり世間には
知られてない、疑難難點疑に概て
辯解せよしたもの

三條と匪黨密約の
るが疑難小使は
て辯解せよしたもの

知らんの一・點張

伏石事件控訴公判

豫番の陳述を

杜は聞かれ、豫中
ることに謝手は

上田文次郎氏の

朗吟 一あ

手が競ふ

るた大會

豫選第

勝

高 青山 久子
織手 は陰謀家らぬうちに
有 林 那何子
太郷 照子

建國の大精神を讃美し更に明確に第三會場へは陸すべく最も嚴格に執行する事となつた。火の東京では第一會場を之に派遣せらるゝ事

公園第二會場を靖國神社敷内第三會場を上野公園とし各會場は在郷軍人、青年團體、宗教團體、教化團體に明治神宮に參

に對する理解は持たなければならぬと思つてこの運動の中心人物に

願ひしたところ、少將もさうよ
 う愛入れて下さつて實は自分も選
 びたいと思つてゐたといはれ
 しかし海軍とすれば少くとも
 二階級は要することであるから自
 分が進んで階級を申出られない

本願寺の

おいて死罪宣告
 死刑宣告を受け
 は今國がはじめ

山本少將の渡鮮は、今秋九月頃にな

運 濱村 楊子 嶽 坂梨 春子
秋 松野 靜江 嶽 清日みさを
嶽 佐藤代子 秋 重政すま子
嶽 京 楊子 秋 政分 優子
嶽 根木 敏子 淵 栗木 菊子
嶽 佐藤 文子 有 武野久子
嶽 西條 文子 有 武野久子

で腹股を控へて
選を斷乎たる處
とした。

木炭賣
おらう

本社取締役が年

大谷尊由師

連新し一開葉痛、秋日高、朝子
遊、新し一開葉痛、秋日高、朝子
遊、新し一開葉痛、秋日高、朝子
遊、新し一開葉痛、秋日高、朝子

栗山博士突然の洋行

【東京電報】皇座陛下の御からだ一階として川中を御遊かりしてゐる東大小児科長 おつきしてゐる

りしてゐる身であるが、畢竟腹下に
はその後極めて御教育よろしく侍
は明かである

建國祭は
嚴格に舉行
參加團體七萬

[illegible]

共同販賣を拒否す

解決する

三省の大局を慮り

日土貿易發會式

健實に進みたい

につき目下立案中である組合

兩軍必死の猛練習

に大貫四段が金

辭意を漏ら

文學書

總督府圖

十二人會計

荷主の調査

土地管理局

丁超氏

伊藤氏は

いふなり

巴里

【倫敦五日發電】パリ

これを助成するため

[illegible]

